

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

09265893 11111412

COPYRIGHT: 1999, JPO & Japio
PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

11111412

April 23, 1999

METHOD FOR HOUSING EXTENSION TELEPHONE AND WALL THICKNESS OUTLET
INVENTOR: TANAKA HIROBUMI

APPL-NO: 09265893

FILED-DATE: September 30, 1997

ASSIGNEE-AT-ISSUE: NIPPON PAPER INDUSTRIES CO LTD

PUB-TYPE: April 23, 1999 - Un-examined patent application (A)

PUB-COUNTRY: Japan (JP)

IPC-MAIN-CL: H 01R025#0

IPC ADDL CL: E 04F019#8, H 01R013#46

CORE TERMS: outlet, electric power, telephone, interior, recessed, battery charger, plug, thickness, electric, housed, cord, rear

ENGLISH-ABST:

PROBLEM TO BE SOLVED: To house an extension telephone together with a battery charger in a wall space and improve the usage convenience of the interior of a room by providing an electric power outlet in the front face of a recessed part formed in a wall face of the interior of the room, inserting a plug formed on the rear side of the battery charger, and accommodating the extension telephone on the charging apparatus.

SOLUTION: A recessed part is formed in the wall face of the interior of a room, an electric power outlet M for a contact type plug by magnets is provided in the front face of the recessed part, and an electric power source cord P is connected. A magnet-operated contact type plug L formed on the rear side of a battery charger B for an extension telephone A is brought into contact and connected with the electric power outlet M. The extension telephone A is put on the battery charger B to be charged. The electric outlet M can be installed in a gap approximately within the thickness of the electric power cord P in the farthest part of the recessed part on the wall, so that the extent of the projection of the extension telephone A

housed in the recessed part in the interior of the room is suppressed as low as possible, and it is made convenient to use the interior of the room. Further, the electric outlet with the wall thickness is made usable as electric power outlet for the interior in the case the extension telephone is not housed in the outlet.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-111412

(43) 公開日 平成11年(1999) 4月23日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I	
H 0 1 R 25/00		H 0 1 R 25/00	G
E 0 4 F 19/08		E 0 4 F 19/08	C
H 0 1 R 13/46	3 0 4	H 0 1 R 13/46	3 0 4 E

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-265893

(22) 出願日 平成9年(1997) 9月30日

(71) 出願人 000183484

日本製紙株式会社

東京都北区王子1丁目4番1号

(72) 発明者 田中 博文

東京都新宿区新宿4丁目3番17号 HK新
宿ビル8F 日本製紙株式会社内

(74) 代理人 弁理士 河澄 和夫

(54) 【発明の名称】 電話子器を収納する方法と壁厚コンセント

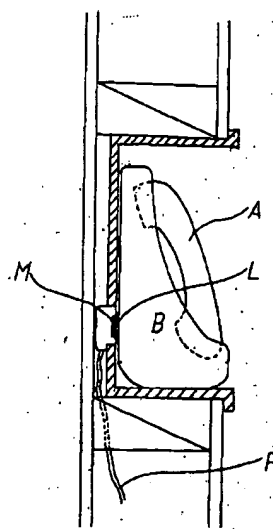
(57) 【要約】

【課題】 電話の子器は、それを使用しないときは、充電器上に置いて充電しておく必要があるが、充電器の適当な置き場所がない。

【解決手段】 壁面に凹部を設け、凹部の正面に電源コンセントを設ける。プラグは、電源コードがなく、直接充電器に取り付けてある。

【効果】 壁厚の凹部に電話子器および充電器を収納できるので、邪魔にならない。この壁厚コンセントを、電話子器用に使用しないときは、通常のコンセントとして使用できる。

図 1



- A 電話子器
- B 電話子器の充電器
- L マグネットによる接触式プラグ
- M マグネットによる接触式電源コンセント
- P 電源コード

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話子器及びその充電器を壁内に収納するにあたり、

1. 室内の壁面に凹部を設け、
 2. 上記凹部の正面に、電源コンセントを設置し、
 3. 電話子器の充電器の裏面にプラグを設け、
 4. 上記充電器のプラグを、プラグ用電源コンセントに差し込み、
 5. 電話子器を充電器上に設置する
- ことを特徴とする電話子器及びその充電器の収納方法。

【請求項2】 プラグ用電源コンセントがマグネットによる接触式電源コンセントであり、プラグがマグネットによる接触式プラグであることを特徴とする請求項1に記載の電話子器及びその充電器の収納方法。

【請求項3】 壁面に設けられた凹部の正面にプラグ用電源コンセントが設けられていることを特徴とする電話子器及びその充電器を収納する壁厚コンセント。

【請求項4】 プラグ用電源コンセントがマグネットによる接触式電源コンセントであることを特徴とする請求項3に記載の電話子器及びその充電器を収納する壁厚コンセント。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話の子器およびその充電器の収納に関する発明である。

【0002】

【従来の技術】電話の子器（以下単に子器という）には通常蓄電池が組み込まれており、使用していないときは充電のため充電器上に置かれている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、通常の家屋や事務所においては、充電器には特に定まった収納場所がないため、適当な場所、例えば机上等に置かれている。机上に置く場合、子器を使用するときは便利であるが、使用しないときには、充電器だけでなく電源コンセントから充電器までの電源コードも邪魔になる。

【0004】子器の充電器に電源コードを取り付けず、充電器に直接差し込みプラグを取り付け、室内の電源コンセントに直接差し込むことも考えられるが、現在一般に使用されている通常の室内電源コンセントは、室内側の壁と面一となっているため、この電源コンセントに子器の充電器のプラグを差し込んでも、充電器を下から支えるものがないため、人が触れたり引っ掛けたりして、子器が落下する恐れがある。また、充電器上にさらに電話子器が設置されるから、室内側にその分だけさらに出っ張り、部屋の使い勝手が悪くなる。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、以下に述べる手段により上記問題点を解決しようとするものである。すなわち、机等、電話の子器を使用する場所の近辺の壁

に、図1のように、室内側に凹部を設け、子器の充電器を収納しようとするものである。この場合、充電器Aには電源コードがなく、電源コンセントから直接必要な電気を導入できるようプラグが取り付けられている。

【0006】凹部の正面には図1又は図2のごとく、電源コンセントが設けられており、充電器を凹部に収めると同時に、充電器のプラグLを電源コンセントに差し込む。この充電器B上に子器Aを置いて置けば、子器Aは常時充電される。この壁厚コンセントを、電話子器用として使用しないときは、机上の照明、コンピューター等のOA機器の電源コンセントとしても使用できることは勿論である。

【0007】

【発明の実施の形態】現在市販中されている電話機の子器の充電器は大部分が電源コード付きであるが、本発明の場合は、電源コードがなく、プラグが直接充電器にとり付けらる。電源コード付の充電器を収納する場合は、電源コンセントを凹部の側面に取り付けなければならないばかりでなく、電源コードの分だけ収納スペースを大きくしなければならないからである。

【0008】通常の住宅では、壁の内法り寸法は約10cmである。従って、子器及び子器の充電器を完全に壁内に収容するためには、子器を充電器上に置いた状態での子器と充電器の高さ合計を10cm以下にすることが望ましいが、4～5cm程度の出っ張りを許容しても、実用上差し支えない。

【0009】子器および充電器を完全に壁内に収納するには、当然、子器及び充電器の小型化が必要であることは当然であるが、さらに、差し込みプラグを使用する通常の電源コンセントの代わりに、図1のごとくマグネットによる接触式のプラグ及び電源コンセントを用いることが好ましい。

【0010】

【発明の効果】本発明による電源コンセントを使用すれば、電話子器を収納するのに便利である。電源コンセントおよびプラグにマグネットによる接触式のプラグ及び電源コンセントを用いると、奥行き狭い凹部でも、子器および充電器を収納するのが容易である。また、この壁厚コンセントは、電話子器用として使用しない時は、室内暖房、照明、事務機器等の電源コンセントとして使用できることはもちろんであるが、壁面の凹部に電源コンセントを設けているので、次のような利点がある。すなわち、通常の電源コンセントは、壁と面一になっているため、その前に本棚等の家具が置かれた場合、プラグが室内側に出っ張るので、その分だけ、壁との間に隙間を設けて置かなければならない。本発明による壁厚コンセントは、電源コンセントが凹部の最奥部にあるので、電源コードの太さ分の隙間さえあれば、部屋の使い勝手がよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による壁厚コンセントの正面図。

【図2】 本発明による壁厚コンセントの断面図。

【符号の説明】

A 電話子器

B 電話子器の充電器

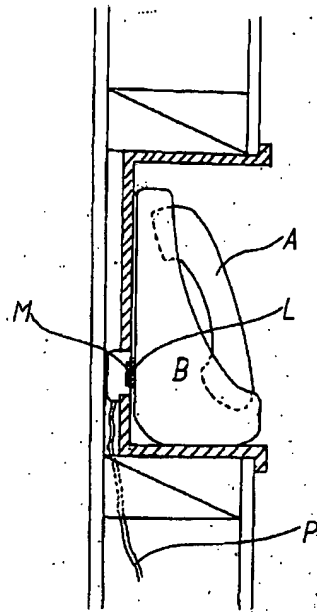
L マグネットによる接触式プラグ

M マグネットによる接触式電源コンセント

P 電源コード

【図1】

図 1



- A 電話子器
- B 電話子器の充電器
- L マグネットによる接触式プラグ
- M マグネットによる接触式電源コンセント
- P 電源コード

【図2】

図 2

